



第1回 自転車安全教育検討部会

2024. 10. 28 (月)
10:00-11:30

建設局自転車政策推進室

本日の流れ



1. 委員紹介
2. 京都市自転車安全教育プログラム
3. 自転車安全教育をとりまく現状
4. 京都市の現状
 - (1) 自転車事故の状況
 - (2) 自転車ルール・マナーの状況
 - (3) プログラムに基づいた自転車安全教室実施状況
5. 京都市自転車安全教育プログラム 充実の方向性



1. 委員紹介（五十音順・敬称略）

中井 宏【部会長】

（大阪大学大学院人間科学研究科 准教授）

福嶋 祐貴

（京都教育大学 大学院連合教職実践研究科 准教授）

吉田 長裕

（大阪公立大学大学院工学研究科 准教授）

（オブザーバー）

京都府警察 交通部 交通企画課

京都市教育委員会事務局 体育健康教育室



2. 京都市自転車安全教育プログラム



2018（平成30）年3月に策定

- ・ 子どもから高齢者までのライフステージ別に自転車安全教室等で教える内容を取りまとめた
- ・ このプログラムに基づき、専門家、京都府警察、教育機関等との連携の下、ライフステージ別に体系立てた自転車安全教育を実施



2. 京都市自転車安全教育プログラム

(前計画)



プログラム策定の経緯

「京都・新自転車計画」(2015.4－2020.3)における様々な「見える化」のひとつに「自転車安全教育プログラム構築」があった

自転車の「見える化」を掲げた計画

- 1 自転車走行環境の「見える化」
- 2 **ルール・マナーの「見える化」**
「**新たな自転車安全利用教育プログラムの構築**」が掲げられた。
- 3 自転車駐輪環境の「見える化」
- 4 自転車観光の「見える化」
- 5 自転車関連施策の「見える化」

自転車政策審議会の下に「ルール・マナーの見える化検討部会」を設置。「見える化」の方向性を検討し、6W1H（だれが、何を、いつ、どこで、なぜ、どのように、だれに）の視点から体系別、世代別に自転車安全教室を整理



3. 自転車安全教育をとりまく現状

【国全体の動き】警察庁が、令和5年度に「良好な自転車交通秩序を実現させるための方策に関する有識者検討会」を実施。検討の結果、次の視点で報告書が取りまとめられた。

検討結果

交通安全教育

- ◆ 自転車利用のニーズが高まっている昨今の情勢を踏まえると、リソースの制約上、警察のみで自転車に係る安全教育を実施することは困難であることから、警察を中心として官民連携を強化していく。
- ◆ あわせて、警察が交通安全教育の需要と供給を的確に捉え、両者のマッチングを促進し、交通安全教育の体系を充実させる。
- ◆ 官民連携の拠点となる官民協議会を構築し、ライフステージごとに提供すべき交通安全教育の指針を示す安全教育ガイドラインを策定し、実施主体によらず教育の質を担保する。
- ◆ 「自転車安全教育」認定制度を構築し、都道府県警察が民間事業者の自転車に係る安全教育を認定する（供給主体の「見える化」）。

ライフステージに応じた安全教育の充実化

違反処理

- ◆ 自転車を交通反則通告制度の対象とした上で、現認可能・明白・定型的な違反行為を反則行為とする。
- ◆ 制度の対象年齢は16歳以上とする。
- ◆ 反則行為となる信号無視、指定場所一時不停止、通行区分違反（右側通行、歩道通行等）等については、特に悪質かつ危険性の高い違反態様に限って青切符による取締りを行う。
- ◆ それ以外の場合については、違反者に将来の運転行動の改善を促す指導警告にとどめる。
- ◆ 酒酔い運転、酒気帯び運転、妨害運転等の反社会性・危険性の高い違反行為は反則行為に含めないこととする。それらのうち、赤切符の対象となる違反行為については、引き続き赤切符で処理する。

違反者の行動改善に向けた指導取締りの推進

交通規制

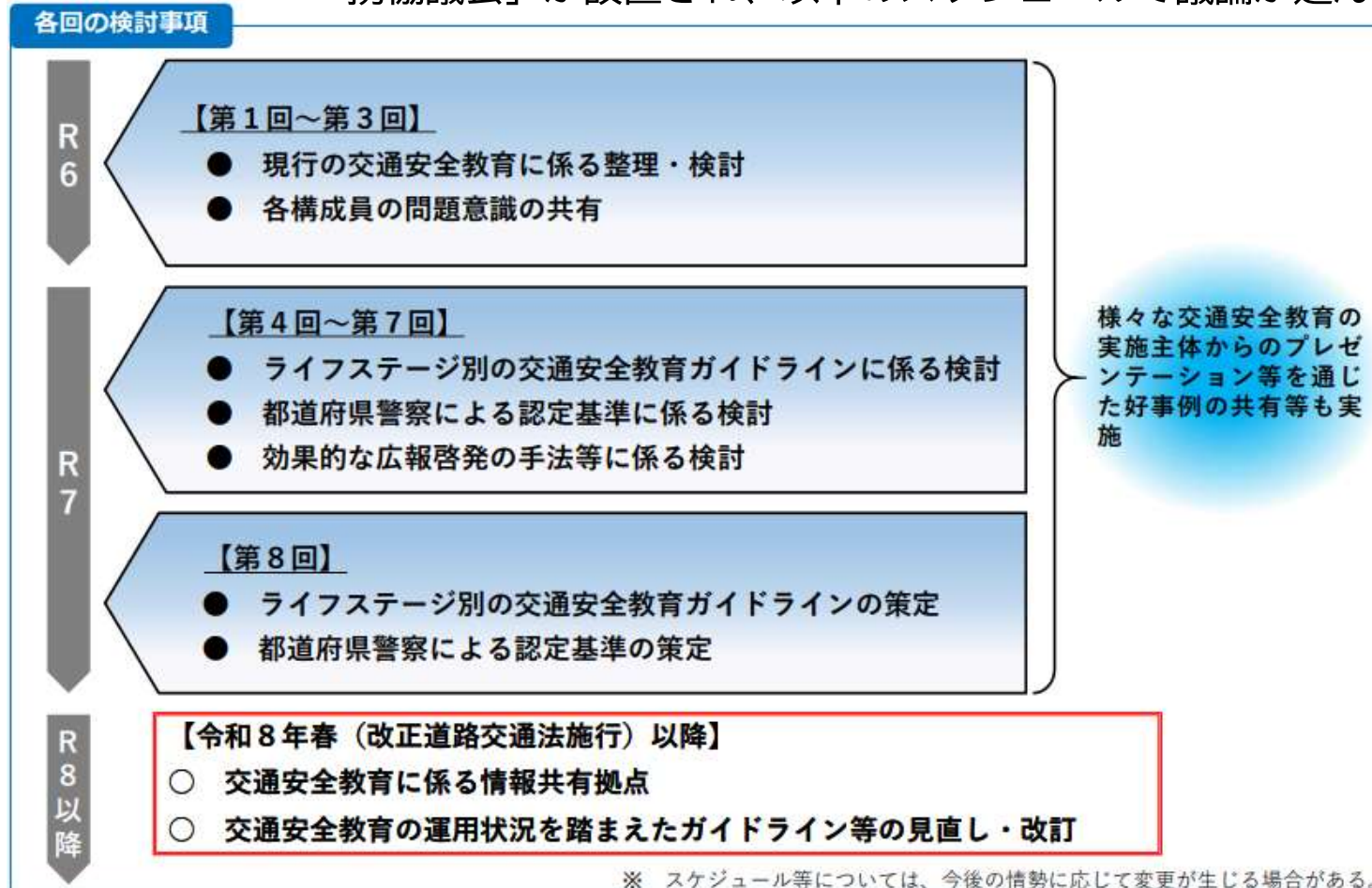
- ◆ 自転車が安全に車道を通行することができる環境を創出するため、国内外の先行事例も参考に、「全ての交通主体がお互いに思いやり、共に道路を安全・快適に利用する」という理念を国民に浸透させるためのキャンペーンを展開するほか、車道を通行する自転車の保護に関する法制上の措置を講ずる。
- ◆ 自転車通行空間における違法駐車対策を推進するため、取締りに係るガイドラインの見直し、警察の取組の周知・理解に向けた広報啓発活動を行う。
- ◆ 他方で、駐車需要を考慮した対応も必要であるところ、関係者とも連携して需要に応じた駐車スペースを確保することで、路上駐車等により自転車が通行しづらい状況を緩和する。

自転車が安全・安心に通行できる環境の整備



3. 自転車安全教育をとりまく現状

【国全体の動き】 報告書に基づき、警察庁によって「自転車の交通安全教育の充実化に向けた官民連携協議会」が設置され、以下のスケジュールで議論が進んでいる。

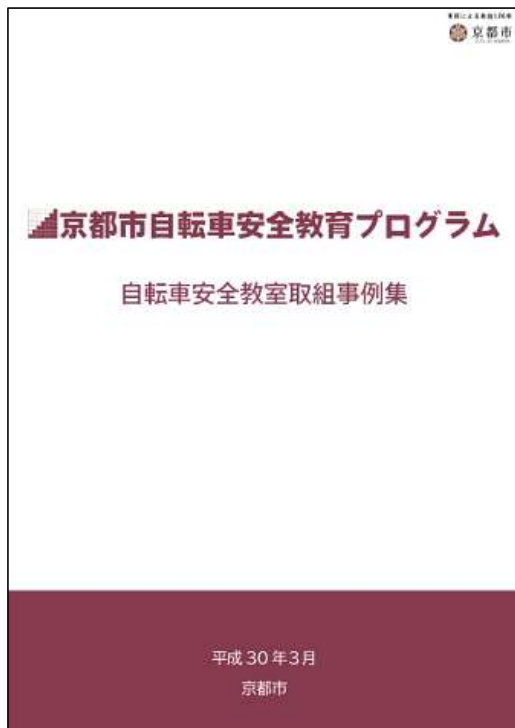


京都市も
構成員として
協議会に参加



3. 自転車安全教育をとりまく現状

【本市の動き】 自転車安全教育プログラムについて



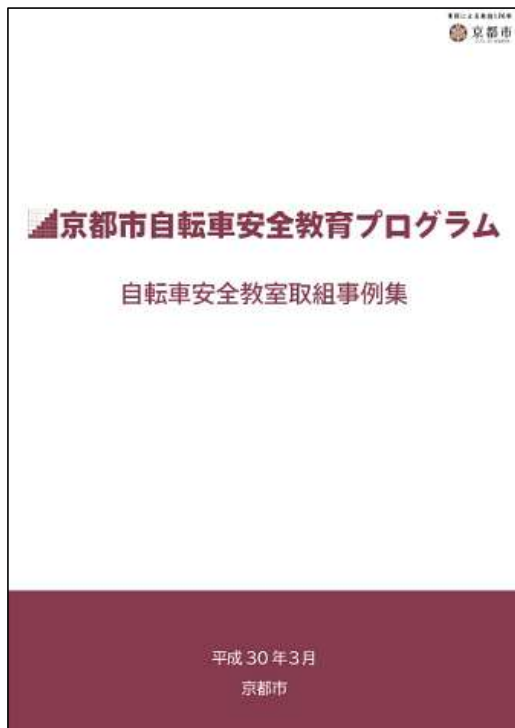
プログラムの評価

- ・ プログラムに示した「ライフステージ別の自転車安全教育のポイント」に基づき、各年代の心身の機能や行動範囲の変化等に応じた内容で実施
- ・ 子どもから高齢者までの体系的な自転車安全教育として一定の評価
←官民連携協議会でも注目されている
- ・ 実際に京都市内における自転車事故はピーク時から8割近く減少し、全国に比べても大きく減少していることに貢献していると言える



3. 自転車安全教育をとりまく現状

【本市の動き】



一方で・・・（懸念・課題）

- ・世代別の特徴に合わせ、どのような教室が実施されているかを分かりやすくまとめているものの、自転車安全教室の実施機会に偏りがある
- ・取組事例紹介で挙げている課題への対応策には触れていない面も
- ・プログラム策定から6年が経過しているが、これまでの間、プログラムに挙げる教室等の効果検証が行われていない

さらに、

京都市自転車総合計画2025の終期が令和7年末（2025年）

+

安全で快適な自転車利用環境創出ガイドラインが改定されるなど、ハード面にも変化

→新たな計画に反映するため、プログラムの見直し時期



4. 京都市の現状

(1) 自転車事故の状況（プログラム策定当時との比較）

全事故件数

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全国	430,601	381,237	309,178	305,196	300,839	307,930
京都府	6,142	5,183	4,118	3,859	3,810	4,067
京都市	3,888	3,279	2,607	2,423	2,401	2,419

自転車関連事故件数

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全国	85,641	80,473	67,673	69,694	69,985	72,339
京都府	1,310	1,121	962	896	825	944
京都市	954	781	668	612	596	617

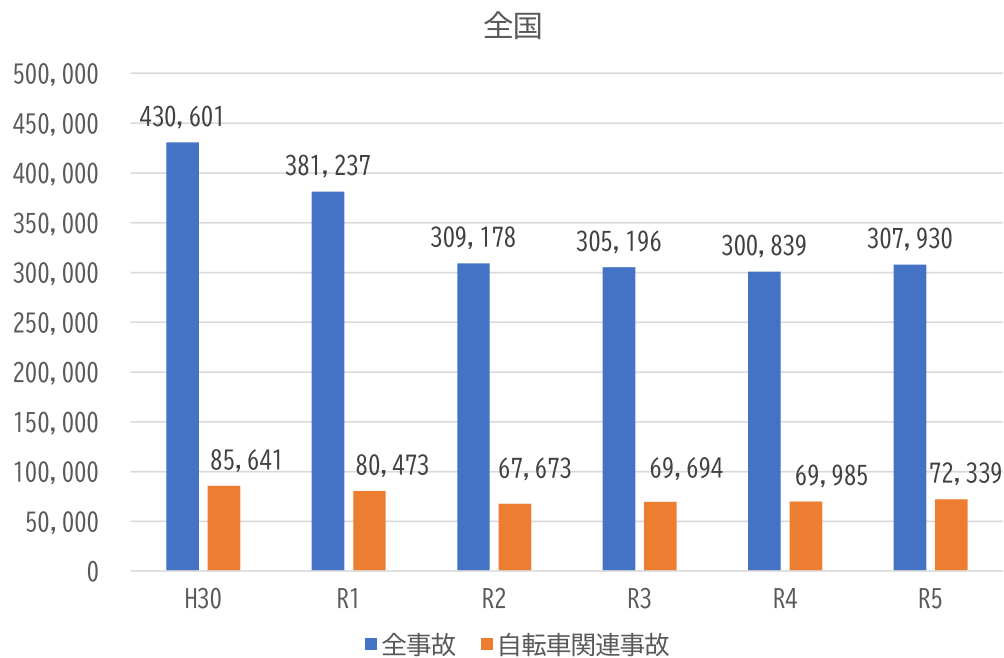
※次ページに全国と京都市のグラフあり

警察庁交通局「令和5年中の交通事故の発生状況」
京都府警察「交通統計（令和5年度ダイジェスト版）」から京都市作成



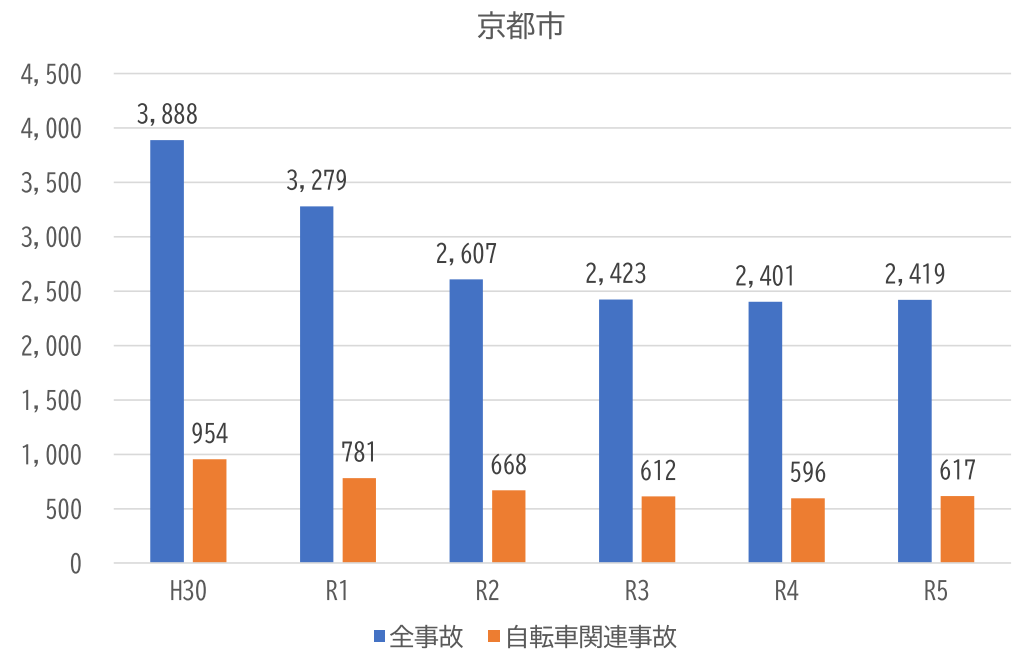
4. 京都市の現状

(1) 自転車事故の状況（プログラム策定当時との比較）



全事故に対する自転車関連事故の構成比

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全国	19.9%	21.1%	21.9%	22.8%	23.3%	23.5%



全事故に対する自転車関連事故の構成比

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
京都市	24.5%	23.8%	25.6%	25.3%	24.8%	25.5%

警察庁交通局「令和5年中の交通事故の発生状況」、「自転車関連事故に関する調査・分析（令和5年度）」から京都市作成



4. 京都市の現状

(1) 自転車事故の状況（プログラム策定当時との比較）

自転車乗車中事故による死者数

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全国	453	433	419	361	339	346
京都府	5	10	6	4	6	7
京都市	1	8	3	1	4	4

京都市で発生した自転車事故のうち、対歩行者、対自転車、対クルマ

	H30	R1	R2	R3	R4
歩行者	37	49	36	27	32
自転車	54	44	44	28	25
クルマ	733	588	499	465	472

対クルマ事故割合 76.8% 75.3% 74.7% 76.0% 79.2%

内閣府「令和6年版交通安全白書」
京都府警察「交通統計（令和5年度ダイジェスト版）」
「自転車関連事故に関する調査・分析（令和5年度）」から京都市作成



4. 京都市の現状

(1) 自転車事故の状況（プログラム策定当時との比較）

京都市内の年齢別自転車事故発生状況（第1・第2当事者合計）

	H30	R1	R2	R3	R4
幼児	1	2	3	3	2
小学生	18	27	17	22	21
中学生	23	19	16	9	28
高校生	72	57	67	56	45
大学生	99	79	50	41	55
一般10代	13	14	6	16	8
一般20代	154	91	93	66	69
一般30代	149	125	100	102	89
一般40代	145	136	118	91	85
一般50代	113	91	92	92	92
一般60代	118	76	60	56	63
一般70代	71	80	69	59	45
一般80歳以上	31	27	21	28	20

「自転車関連事故に関する調査・分析（令和5年度）」から京都市作成



4. 京都市の現状

(1) 【参考】小型モビリティ（特定小型原動機付自転車）の状況

令和5年7月1日、道路交通法の一部を改正する法律（令和4年法律第32号）の施行により、車体の大きさや構造が一定の基準に該当するものについては、原動機付自転車の一類型である「特定小型原動機付自転車」として位置付けられ、走行場所が自転車とほぼ同様となるなどの新たな交通ルールが適用された。

特定小型原動機付自転車登録台数

令和5年度

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
台数	207	21	54	68	140	112	15	18	22	657

令和6年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
台数	118	37	231	46	49	63	544

特定小型導入後合計
1,201

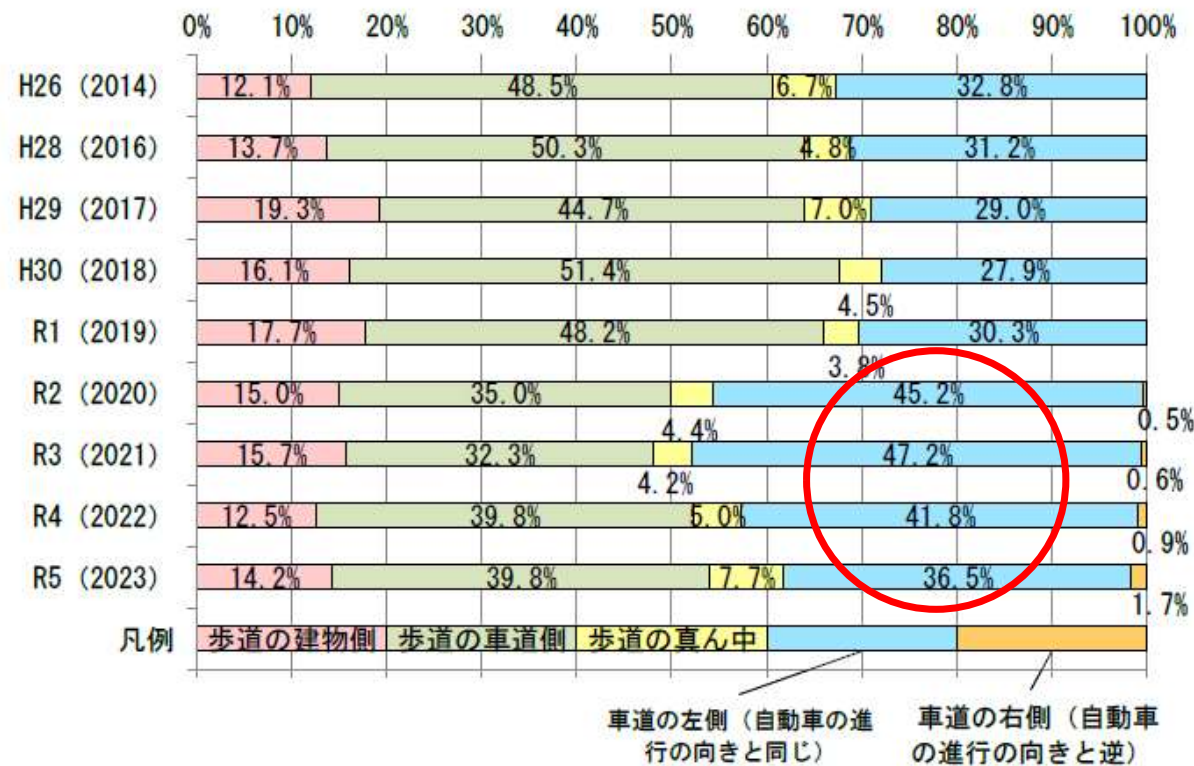


4. 京都市の現状

(2) 自転車ルール・マナーの状況（市民アンケートによる比較）

○ 歩道のある道路を自転車で走行する際、どこを走ることが多いですか

●過年度比較グラフ



令和2年に「車道左側」が40%を超えたが、令和4年、5年と下がっている



4. 京都市の現状

(2) 自転車ルール・マナーの状況（市民アンケートによる比較）

○ 自転車の交通ルールについて知っているものをすべて選択してください

項目	回答数	割合
車道走行が原則で、車道の左側を通行する	675	67.5%
歩道で走るときは車道寄りを走る	455	45.5%
歩道で走るときはすぐに止まれるスピードで走る	531	53.1%
人の多い道路では自転車に乗らずに押し歩きをする	523	52.3%
信号のない交差点では、歩行者や自転車・車等車両の通行がないか確認する	514	51.4%
必ず信号を守る	707	70.7%
携帯電話やスマートフォン等の操作や音楽を聴きながらの「ながら運転」をしない	688	68.8%
傘さし運転はしない	692	69.2%
暗いときはライトをつける	706	70.6%
二人乗りはしない（小学校就学の始期に達するまでの子を乗車の場合は除く）	648	64.8%
横に並んで走らない	586	58.6%
飲酒運転はしない	703	70.3%

項目	回答数	割合
一時停止を守る	608	60.8%
歩道を通行できる例外を除いて、歩道を走ってはいけない	464	46.4%
交差点を右折するときには二段階右折をする	392	39.2%
ヘルメットを着用する	498	49.8%
すべて知らなかった	49	4.9%
回答数 計	9439	-
回答者数	1000	-



4. 京都市の現状

(2) 自転車ルール・マナーの状況（市民アンケートによる比較）

- 自転車の交通ルールについて守っていないと思うものについて5つまで答えてください

項目	回答数	割合
車道走行が原則で、車道の左側を通行する	223	22.3%
歩道で走るときは車道寄りを走る	184	18.4%
歩道で走るときはすぐに止まれるスピードで走る	167	16.7%
人の多い道路では自転車に乗らずに押し歩きをする	214	21.4%
信号のない交差点では、歩行者や自転車・車等車両の通行がないか確認する	88	8.8%
必ず信号を守る	161	16.1%
携帯電話やスマートフォン等の操作や音楽を聴きながらの「ながら運転」をしない	182	18.2%
傘さし運転はしない	176	17.6%
暗いときはライトをつける	97	9.7%
二人乗りはしない（小学校就学の始期に達するまでの子を乗車させる場合は除く）	58	5.8%
横に並んで走らない	120	12.0%
飲酒運転はしない	68	6.8%

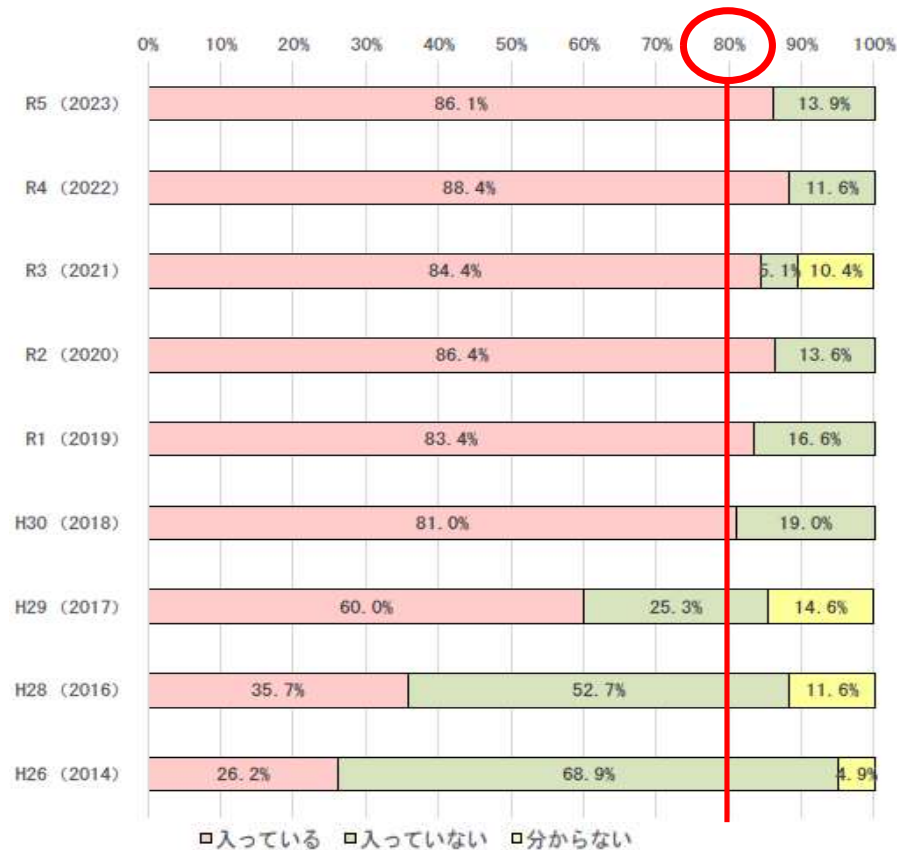
項目	回答数	割合
一時停止を守る	120	12.0%
歩道を通行できる例外を除いて、歩道を走ってはいけない	161	16.1%
交差点を右折するときには二段階右折をする	131	13.1%
ヘルメットを着用する	341	34.1%
あてはまるものはない	175	17.5%
その他	5	0.5%
回答数 計	2671	-
回答者数	1000	-



4. 京都市の現状

(2) 自転車ルール・マナーの状況（市民アンケートによる比較）

○ あなた又はあなたの家族は自転車保険に入っていますか



京都市・京都府では平成30年4月
から自転車保険加入義務化
(事業者は平成29年10月から)

※義務化に向けて平成29年度当初から
周知・啓発を実施しており、
義務化となった平成30年度以降は
80%を超えている



4. 京都市の現状

(2) 自転車ルール・マナーの状況（高校生対象ヘルメットモニターアンケート）

○ 自転車安全教育でこれまで受けたことがあるものを教えてください（複数回答可）

高校生へのアンケート結果だと、小学校での自転車安全教育を認識している方が一番多い

小学校で自転車安全教室	124
中学校で自転車安全教室	42
高校で自転車安全教室	19
交通安全イベント等での自転車安全教室	17
その他（受けた覚えがない）	3
企業（自転車店等）による自転車安全教室	1
総計	206

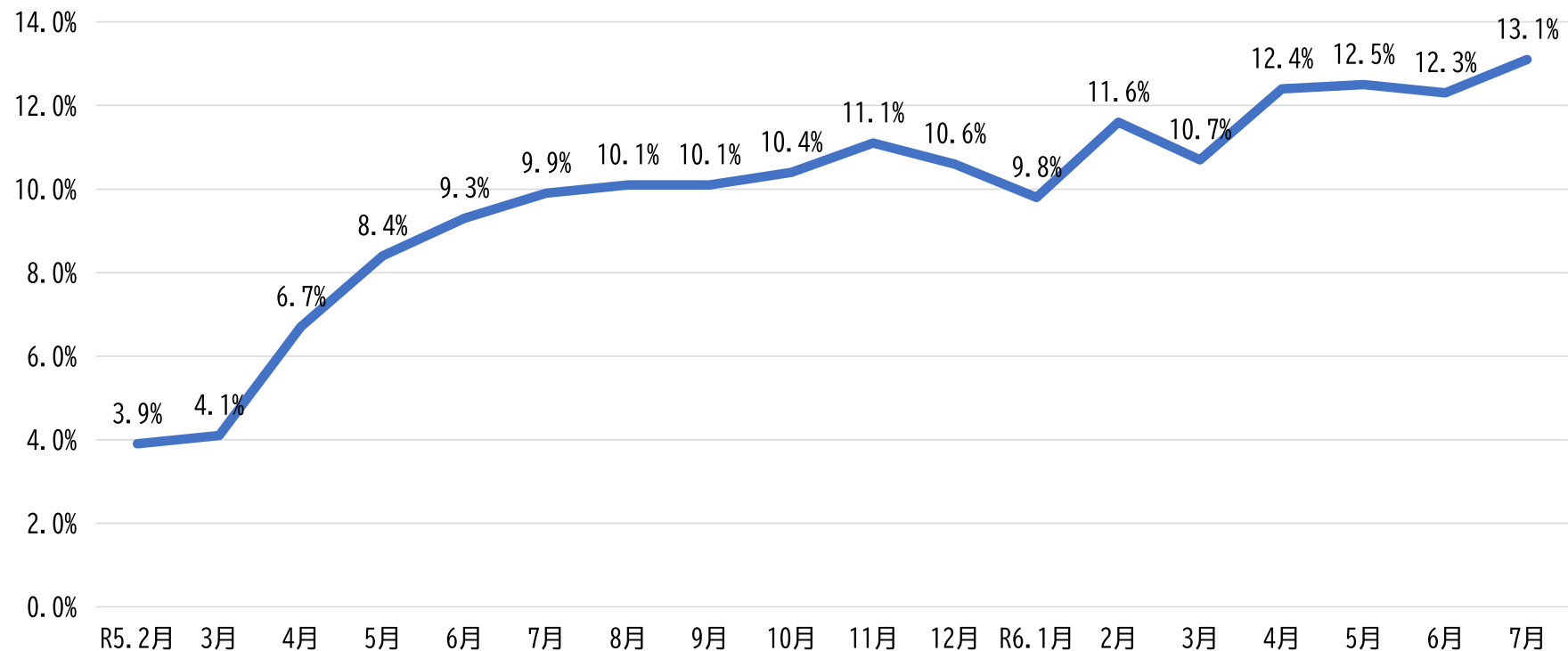
4. 京都市の現状



19

(2) 自転車ルール・マナーの状況（自転車用ヘルメットの着用）

京都府下のヘルメット着用率（京都府警察調査）



警察庁の全国調査によると、令和6年7月時点の全国平均は17.0%（令和6年9月12日付け警察庁発表による）



4. 京都市の現状

(2) 自転車ルール・マナーの状況（自転車用ヘルメットの着用）

（参考）警察庁交通局「令和5年中の交通事故の発生状況」から抜粋

自転車乗用中のヘルメット着用有無別死傷者数の推移

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
着用	7,584	7,111	6,124	6,816	6,717	9,521
合計	84,383	78,982	66,137	68,114	68,140	70,301
着用率	9.0%	9.0%	9.3%	10.0%	9.9%	13.5%

4. 京都市の現状



21

(3) プログラムに基づいた自転車安全教室実施状況 (プログラムP. 13参照)

	幼児 	小学生 	中学生 	高校生 	大学生 	社会人 	高齢者 	
●出生	●保育園 入園 ●幼稚園 入園	●小学校 入学	●中学校 入学	●高校 入学	●大学 入学 ●運転免許取得 ●転入	●運転免許取得・更新 ●転入、就職、結婚 ●子育て	●運転免許更新 ●運転免許返納 ●孫育て	
座学		学校現場で実施 安全教育副読本「安全ノート」等を活用した自転車交通安全教育（市教育委員会） 1-1 「見て分かる！」自転車安全教室 1-2 自転車安全教室（事故のリスク・社会的責任編） 1-3 スケアード・ストレイト方式による自転車安全教室 1-4			自動車教習所を活用した自転車安全利用講習 ①教習生向け（右の写真） ②一般市民向け 1-5 大学生に対する交通安全教育（府警） 2-2 パパママ自転車教室 1-6 自転車安全利用推進企業による取組 1-7 自転車用ヘルメットとチャイルドシート使用講習会（京あんしんこども館） 1-10			
	 小学生を対象とした自転車交通安全教室（市教育委員会・府警） 1-9 キックバイクを用いた子ども自転車教室 1-11 補助輪外し教室				自転車安全利用推進員委嘱講習（京都府） 2-1 大学生に対する交通安全教育（府警、再掲） 2-2 自転車用ヘルメットとチャイルドシート使用講習会（京あんしんこども館、再掲） 1-10 シミュレーター等を活用した講習（府警） 2-3 ①矢羽根を活用した公道における自転車教室 ②自転車を楽しみながら学べる教室 ③サイクリングイベントの企画、支援			2-4
啓発	自転車ルール等啓発冊子「Enjoy 自転車 life in Kyoto」（子ども向け）							3-1
								
	自転車ルール等啓発冊子「Enjoy 自転車 life in Kyoto」（一般向け）							
	自転車マナーアップフェスタin京都 							3-2
	関係団体（市行財政局サービス事業推進室、各区役所、府警、地域団体等）と連携した啓発、各種イベントへのブース出展、市バス車体を活用した広報等 3-3(1)~(4)、3-2、再掲を除くすべての啓発							
	自転車交通安全 CM コンテスト（KBS京都、府警）			自転車安全利用推進企業による取組（再掲） 1-7				
	マスメディアを活用した啓発等（若者向け雑誌への広告掲載等）							
	新たな走行環境の整備を行う地域への啓発							
	レンタサイクル利用者（観光客、外国人）へのルール・マナーの周知徹底							
	外国人向けパンフレット Kyoto Safety Navi（府警）							

（３）プログラムに基づいた自転車安全教室実施状況（プログラムP. 13参照）

	幼児 	小学生 	中学生 	高校生 	大学生 	社会人 	高齢者
●出生	●保育園 入園 ●幼稚園 入園	●小学校 入学	●中学校 入学	●高校 入学	●大学 入学 ●運転免許取得 ●転入	●運転免許更新・更新 ●転入、就職、結婚 ●子育て	●運転免許更新 ●運転免許返納 ●高齢者
●学	学校現場で実施 安全教育副読本「安全ノート」等を活用した自転車交通安全教育（市教育委員会） 1-1 「見て分かる！」自転車安全教室 1-2 自転車安全教室（事故のリスク・社会的責任編） 1-3 スケアード・ストリート方式による自転車安全教室 1-4				自動車教習所を活用した自転車安全利用講習 ①教習生向け（右の写真） ②一般市民向け 1-5 大学生に対する交通安全教育（府営） 2-2 ババママ自転車教室 1-6 自転車安全利用推進企業による取組 1-7 自転車用ヘルメットとチャイルドシート使用講習会（京あんしんこども館） 1-8		
●実	小学生を対象とした自転車交通安全教室（市教育委員会・府営） 1-9 キックバイクを用いた子ども自転車教室 1-10 補助輪外し教室				自転車安全利用推進員受訓講習（京都府） 2-1 大学生に対する交通安全教育（府営、再掲） 2-2 自転車用ヘルメットとチャイルドシート使用講習会（京あんしんこども館、再掲） 1-8 シミュレーター等を活用した講習（府営） 2-3		
●施	※サイクルセンターにおける自転車安全教室						
●啓	自転車ルール等啓発冊子「Enjoy 自転車 life in Kyoto」（子ども向け） 自転車ルール等啓発冊子「Enjoy 自転車 life in Kyoto」（一般向け） 3-1 自転車マナーアップフェスタ in 京都 3-2 関係団体（市行財政局サービス事業推進室、各区役所、府警、地域団体等）と連携した啓発、各種イベントへのブース出展、市バス車体を活用した広報等 3-3 自転車交通安全 CM コンテスト（KBS 京都、府営） 自転車安全利用推進企業による取組（再掲） 1-7 マスメディアを活用した啓発等（若者向け雑誌への広告掲載等） 新たな走行環境の整備を行う地域への啓発 レンタサイクル利用者（観光客、外国人）へのルール・マナーの周知徹底 外国人向けパンフレット Kyoto Safety Navi（府営）						



4. 京都市の現状

(3) プログラムに基づいた自転車安全教室実施状況 (プログラムP. 13参照)

1-①キックバイクを用いた子ども自転車教室 (幼児)

教室名	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
キックバイクを用いた 子ども自転車教室	7	179	24	814	38	1,011	26	707	(サイクルセンターで実施)		(サイクルセンターで実施)		(サイクルセンターで実施)	
	〔うち市立保育所 7箇所 179名〕		〔市立幼稚園 3箇所 59名 私立幼稚園 11箇所 558名 市営保育所 10箇所 197名〕		〔市立幼稚園 3箇所 53名 私立幼稚園 5箇所 225名 市営保育所 11箇所 268名 私立保育園 18箇所 446名 その他施設 1箇所 19名〕		〔市立幼稚園 4箇所 68名 私立幼稚園 5箇所 219名 市営保育所 5箇所 151名 私立保育園 12箇所 269名 その他施設 0箇所 0名〕							
サイクルセンター プレイバント自転車安全教室					3	190	2	117						
キックバイク教室（団体）									11	426	46	901	46	1,023

キックバイク教室は園児への教育に
有効な手段だと思いますか？



■ とても思う ■ まあそう思う

(先生方の具体的な声)

- ・ ヘルメットやキックバイクなどをお借りして、コースを走らせてもらえるので、日常とはまた違った緊張感の中で、体を動かしながら楽しんで、学ぶことが達成感につながる
- ・ 楽しく交通ルールが学べていいなと思いました

※令和5年度実施でアンケートを回収した27園の結果 (25園が「とても思う」2園が「まあそう思う」)



4. 京都市の現状

(3) プログラムに基づいた自転車安全教室実施状況 (プログラムP. 13参照)

1-②「見て分かる！」自転車安全教室 (中学生・高校生)

教室名	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
「見て分かる！」 自転車安全教室	9	2,680	12	3,150	4	1,220	2	290	4	965	7	1,240	5	885

令和5年度実施校アンケート結果。9割以上の生徒が自転車に安全に乗ることの意識が変わったと回答

今回の教室を受けて、自転車の交通ルールやマナーの重要性について理解できましたか。	数値	割合
よく理解できた	469	69%
まあまあ理解できた	197	29%
あまり理解できなかった	8	1.2%
全く理解できなかった	6	1%
無回答	3	0.4%
計	683	100%

今回の教室を受けたことで、自転車を安全に乗ることの意識は変わりましたか。	数値	割合
非常に変わった	344	50%
少し変わった	285	42%
あまり変わらなかった	38	6%
全く変わらなかった	15	2.2%
無回答	1	0.1%
計	683	100%



4. 京都市の現状

(3) プログラムに基づいた自転車安全教室実施状況 (プログラムP. 13参照)

1-③事故のリスク・社会的責任編 (中学生・高校生)

教室名	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
事故のリスク・社会的責任編	6	1,170	8	2,660	10	2,530	8	1,430	7	1,125	6	1,090	10	2,010

令和5年度実施校アンケート結果。約9割の生徒が自転車に安全に乗ることの意識が変わったと回答

今回の教室を受けて、自転車の交通ルールやマナーの重要性について理解できましたか。	数値	割合
よく理解できた	424	46%
まあまあ理解できた	432	47%
あまり理解できなかった	56	6%
全く理解できなかった	13	1%
無回答	4	0%
計	929	100%

今回の教室を受けたことで、自転車を安全に乗ることの意識は変わりましたか。	数値	割合
非常に変わった	355	38%
少し変わった	455	49%
あまり変わらなかった	88	9%
全く変わらなかった	24	3%
無回答	7	1%
計	929	100%



4. 京都市の現状

(3) プログラムに基づいた自転車安全教室実施状況 (プログラムP. 13参照)

1-④スケアード・ストレイト方式による自転車安全教室

→令和元年度で中止

→新たな教室として「映像教材を活用した危険予知自転車安全教室」

教室名	令和5年度	
	回数	参加人数
映像教材を活用した危険予知自転車安全教室	5	1,172

令和5年度は初年度であったため、受講生徒へのアンケートなし
受講学校の先生からの声は次のとおり

(良い点)

- ・自転車に乗っているときに起こり得る危険について理解しやすい内容だった
- ・映像を使って分かりやすく学ぶことができる工夫があった

(課題点)

- ・講義形式で聞いている時間が長いため、もう少し時間がコンパクトにしてほしい
- ・なまぬるい内容ではなく厳しい現実が伝わるような内容を希望



4. 京都市の現状

(3) プログラムに基づいた自転車安全教室実施状況（プログラムP. 13参照）

1－⑤自動車教習所を活用した自転車安全利用講習（大学生・社会人・高齢者）

受講対象	教室名	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
自動車学校 教習生向け	自動車教習所を活用した 自転車安全利用講習	21,492		21,933		17,974		23,144		23,024		21,798		21,423	
一般市民向け		2,194		2,921		2,786		110		149		195		338	

令和5年度アンケート結果。9割以上の受講者が自転車に安全に乗ることの意識が変わったと回答

今回の講習を受けて、自転車の交通ルールやマナーの重要性について理解できましたか？	数値	割合
よく理解できた	603	76%
まあまあ理解できた	176	22%
あまり理解できなかった	7	1%
全く理解できなかった	3	0.4%
無回答	7	0.9%
計	796	100%

今回の講習を受けたことで、自転車を安全に乗ることの意識は変わりましたか。	数値	割合
非常に変わった	459	58%
少し変わった	296	37%
あまり変わらなかった	30	4%
全く変わらなかった	4	0.5%
無回答	7	1%
計	796	100%



4. 京都市の現状

(3) プログラムに基づいた自転車安全教室実施状況 (プログラムP. 13参照)

1-⑥パパママ自転車教室 (社会人)

教室名	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
パパママ自転車教室	9	172	8	328	17	252	5	48	3	26	18	127	22	250

令和5年度アンケート結果。9割以上の受講者が自転車に安全に乗ることの意識が変わったと回答

今回の教室を受けて、自転車の交通ルールやマナーの重要性について理解できましたか？	数値	割合
よく理解できた	54	95%
まあまあ理解できた	2	4%
あまり理解できなかった	0	0%
全く理解できなかった	0	0%
無回答	1	2%
計	57	100%

今回の教室を受けたことで、自転車を安全に乗ることの意識は変わりましたか。	数値	割合
非常に変わった	36	63%
少し変わった	18	32%
あまり変わらなかった	2	4%
全く変わらなかった	0	0%
無回答	1	2%
計	57	100%



4. 京都市の現状

(3) プログラムに基づいた自転車安全教室実施状況 (プログラムP. 13参照)

サイクルセンターにおける自転車安全教室 (1-①を除く)

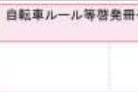
教室名	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
キックバイク教室 (個人)	25	306	14	185	14	168
自転車乗り方デビュー教室	35	332	47	229	19	130
自転車スキルアップ教室	8	64	5	42	5	25
自転車ルール・マナー教室	3	244	5	159	7	233
自転車乗り方教室	0	0	5	29	5	18
自転車乗り方教室 (大人版)	4	28	2	6	1	5
子乗せ自転車体験会	3	11	0	0	2	12

教室名	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
電動アシスト自転車体験会	1	3	2	4	0	0
シニア自転車健康教室	1	5	3	7	1	2
健康サイクリング	1	3	1	1	0	0
ジュニアサイクリング	1	3	0	0	0	0

※サイクルセンターは令和3年4月開設のため、それ以降の実績のみ

子ども向け教室は個人向けのキックバイク教室含め人気だが、大人向け教室については参加者数が伸び悩んでおり、社会人・高齢者向けの自転車安全教育の機会に課題

（３）プログラムに基づいた自転車安全教育（プログラムP. 13参照）

	幼児 	小学生 	中学生 	高校生 	大学生 	社会人 	高齢者 
	●保育園 入園 ●幼稚園 入園	●小学校 入学	●中学校 入学	●高校 入学	●大学 入学 ●運転免許取得 ●転入	●運転免許取得・更新 ●転入、就職、結婚 ●子育て	●運転免許更新 ●運転免許返納 ●孫育て
県庁		安全教育副読本「安全ノート」等を活用した自転車交通安全教育（市教育委員会） 1-1-8 「見て分かる！」自転車安全教室 1-2 自転車安全教室（事故のリスク・社会的責任編） 1-3 スクエアード・ストリート方式による自転車安全教室 1-4				自動車教習所を活用した自転車安全利用講習 ①教習生向け（6名の写真） ②一般市民向け 1-5 大学生に対する交通安全教育（府警） 2-2 ババママ自転車教室 1-6 自転車安全利用推進企業による取組 1-7 自転車用ヘルメットとチャイルドシート使用講習会（京あみんこども館） 1-8	
	 小学生を対象とした自転車交通安全教室（市教育委員会・府警） 1-9 キックバイクを用いた子ども自転車教室 1-10 補助輪外し教室					自転車安全利用推進員養成講習（京都府） 2-1 大学生に対する交通安全教育（府警、再掲） 2-2 自転車用ヘルメットとチャイルドシート使用講習会（京あみんこども館、再掲） 1-9 シミュレーター等を活用した講習（府警） 2-3 ①矢羽根を活用した公道における自転車教室 ②自転車を楽しみながら学べる教室 ③サイクリングイベントの企画、支援	
市役所	自転車ルール等啓発冊子「Enjoy 自転車 life in Kyoto」（子ども向け） 		自転車ルール等啓発冊子「Enjoy 自転車 life in Kyoto」（一般向け） 				
					自転車マナーアップフェスタin京都 3-2		
市役所	関係団体（市行財政局サービス事業推進室、各区役所、府警、地域団体等）と連携した啓発、各種イベントへのブース出展、市バス車体を活用した広報等 3-3						
	自転車交通安全 CM コンテスト（KBS 京都、府警）				自転車安全利用推進企業による取組（再掲） 1-7		
市役所	マスメディアを活用した啓発等（若者向け雑誌への広告掲載等）						
	新たな走行環境の整備を行う地域への啓発						
市役所	レンタサイクル利用者（観光客、外国人）へのルール・マナーの周知徹底						
	外国人向けパンフレット Kyoto Safety Navi（府警）						



4. 京都市の現状

(3) プログラムに基づいた自転車安全教育 (プログラムP. 13 参照)

1-⑦自転車安全利用推進企業による取組

毎月のネットワーク通信 (自転車に関する法改正など周知・啓発事項をお知らせ) の配信や自転車安全利用推進管理者向けの研修を実施

自転車安全利用推進企業 ネットワーク通信 令和6年8月 京都市建設局 自転車政策推進室

皆様、ぜひ活用ください！
自転車無料点検&ルール・マナー講習会について

今回は、京都市自転車安全利用推進企業の皆様にご活用いただける制度をご紹介します！
京都市自転車安全利用推進企業のネットワークを活用し、推進企業制度に参加している自転車店 (サポート自転車店) から、自転車安全整備士を派遣し、無料の自転車点検とルール・マナー講習を受けていただくことができます。

●講習会の実施例
・時間：ルール・マナー講習 10～15分程度
自転車無料点検 1～2時間程度 (自転車の台数により異なります。)
・場所：点検作業等ができる場所を講習参加企業様にご用意いただきます。

【ルール・マナー講習の様子】 【自転車無料点検の様子】

講習会の流れや申請方法等、詳しくは、以下の本市ホームページをご覧ください。
⇒ <https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/000186933.html>

京都市では随時、京都市自転車安全利用推進企業を募集しております。
皆様のご協力により、京都市の自転車安全利用推進企業が増え、安全な自転車利用が実現されることを目指しています。

～オシャレなヘルメットのご紹介～

オシャレな自転車用ヘルメットが次々発売されています。
安全性・快適性はもちろん、デザイン性を備えたオシャレなヘルメットは毎日の通勤・通学に欠かせないアイテムです。
ぜひご自身のスタイルにあったヘルメットを選んでいただき、楽しい自転車ライフをお過ごしください。
購入時には、安全規格の確認もお忘れなく！
(ちなみにこのRAFFINEシリーズは「SG規格」です)

RAFFINE (ラフィネ) シリーズ
ハットタイプ (モカージュ) ケースアットタイプ (グレー)

ヘルメット電装品 (他) サージケーシングHPも活用
<https://www.okkabuto.co.jp/index.html>

京都市の自転車政策に関することは、京都市サイクルサイト 検索

自転車安全利用推進企業 ネットワーク通信 令和6年9月 京都府警察本部交通部 交通企画課

【時間帯別】京都市内の自転車の交通事故発生状況

R5年・R6年と比べ、上半期は8～10時が最多。
R5年下半期は、8～10時が減少し、16～18時が最多！

下半期は、通勤時間帯の交通事故の増加が予想されます！
★ 自転車も確実に 前照灯を点灯！
★ 自転車運転時は 早めのライト点灯を心がけよう！

令和6年 改正道路交通法施行 自転車運転中の【携帯電話使用等】に対する罰則が厳格されます！

自転車運転中に携帯電話を手にもって通話、画像を撮影すると、点数の対象になります！

携帯電話使用等
【交通の危険を生じさせた場合】
1年以下の懲役又は30万円以下の罰金
【車や歩行者等に接触した場合】
通話や画像を撮影した場合
6月以下の懲役又は10万円以下の罰金

ながらスマホアかん！

※ 自転車運転中のイヤホン使用は、従来通り、違反 (公安委員会違犯事項違反) です。

その②【飲酒運転】は、11月までに厳罰します！



令和6年9月に実施した研修の様子

秋の全国交通安全運動 令和6年9月21日(土)～30日(月)
～ 古川の秋 ゆするもて 事故ゼロ ～

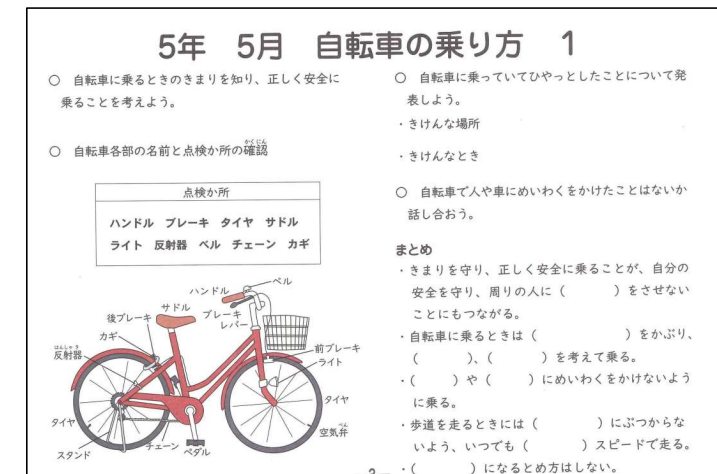
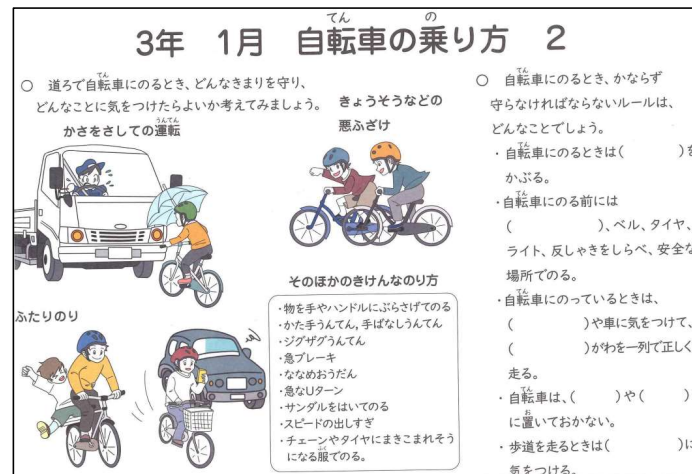
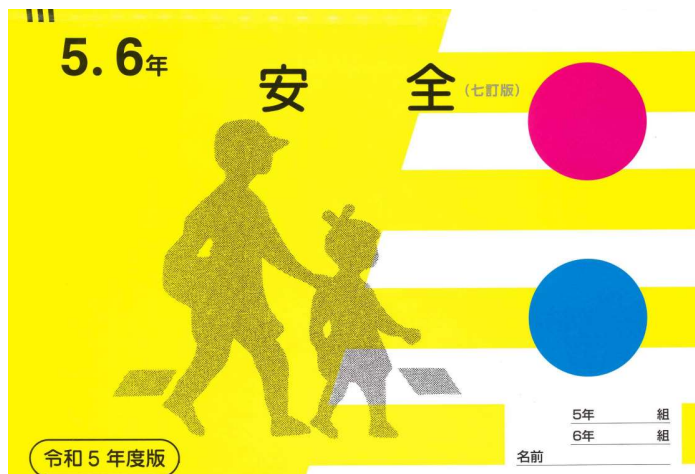


4. 京都市の現状

(3) プログラムに基づいた自転車安全教育 (プログラムP. 13 参照)

1-⑧安全教育副読本「安全ノート」等を活用した教育

様々な「安全」に関するテーマを各月で設定し、活用できる教材を副読本として用意
自転車の乗り方や、どのような場面でどのように気を付けなければならないかの気付きを
得る内容が掲載されている





4. 京都市の現状

(3) プログラムに基づいた自転車安全教育 (プログラムP. 13参照)

1-⑩自転車用ヘルメットとチャイルドシート使用講習会 →チャイルドシート装着と自転車安全走行の講習会

チャイルドシート装着と自転車安全走行の講習会

内 容: 講 義 「チャイルドシートと自転車用ヘルメットの必要性と重要性」について

講師 京都第二赤十字病院 小児科医師

体 験 ①子ども乗せ自転車の正しい乗り方(中京警察署)

②チャイルドシートの正しい使い方(JAF 京都支部)



時 間: 13:10~16:00 (13:00~受付)

定 員: 先着 30 名

(対象は未就学児の保護者等)

費 用: 無料

(子どもの事故防止マニュアルと参加記念品を進呈)

共 催: 中京警察署・京都府交通安全協会・JAF 京都支部・京都第二赤十字病院

協 力: 京都うずら野ライオンズクラブ・梅屋交通安全対策協議会

開 催 日	申 込 期 間
5月28日(火)	5月1日(水) ~ 5月18日(土)
10月29日(火)	10月1日(火) ~ 10月19日(土)

交通事故は子どもの事故死亡の1/4を占めますが、自動車事故はチャイルドシートの使用で、自転車事故はヘルメットの着用で致死率が確実に低下します。

そこで、京(みやこ)あんしんこども館では警察、JAFと協力して子どもを交通事故から守るための講習会を開催しています。

自転車とチャイルドシート講習会(京(みやこ)あんしんこども館主催)

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
参加人数	54	49	4	6	24	26

京(みやこ)あんしんこども館HPから引用

5. 自転車安全教育プログラム 充実の方向性



自転車安全教育検討部会で議論していきたいこと

- ・ 自転車教育をする側、受ける側の「学習のポイント、観点」の共通化
- ・ 現在、不足している部分や更に強化した方が良い部分の精査・対応策の検討
（実施主体、実施手法の掘り起こし含む）
- ・ 自転車安全教育・自転車安全利用に関心のない方へどのように届けることができるのか、方策の模索